

高校生のための心理学講座

2024.8.10_土

開場時間 10:00

開始時間 10:30

終了時間 16:20

新潟大学 駅南キャンパス ときめいと

〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口1丁目1 プラーク1 2F

<https://www.niigata-u.ac.jp/university/facility/tokimate/access/>

JR「新潟駅」南口から徒歩3分

- ◆開催企画 新潟大学
- ◆企画者(司会兼任) 福島 治 (新潟大学)
中島伸子 (新潟大学)

・筆記用具をご持参ください。上履きは必要ありません。

定員 100名

10:30-11:20 知覚心理学	中嶋 豊 (新潟大学)	人はどうやってものを見ていると思いますか。また目の錯覚はどうやって起きていると思いますか。知覚心理学では視覚をはじめ人間の感覚について主に実験を通してそのメカニズムについて研究をする分野です。この授業では実際に目の錯覚の体験してもらいながら、知覚心理学という心理学の分野について学んでいきます。
11:30-12:20 健康心理学	斎藤 恵美 (新潟青陵大学)	皆さんは授業で宿題がたくさん出たとき、「いやだな、やりたくない」とやる気を失ったり「全部終わらせられるかな」と心配になったりしたことはありませんか。このような心理的ストレスに向き合うには、まず自分が今のくらいストレスを感じているか気づくことが重要です。この時間は、どのようにストレスへ対処すればよいのかについて考えます。
13:30-14:20 社会心理学	福島 治 (新潟大学)	人の反応はそれがどのような社会的状況に置かれているかによって注目すべき特徴が違ってきます。例えば、集団の中では物事の判断が集団内の他のメンバーの影響をどのように受けるのか、対人関係の中では個人の考え方が相手の反応にどのように影響するのか、個人的な状況では、他者について考える際にどのような情報が効果をもつのか等と様々です。その辺りをお話いたします。
14:30-15:20 発達心理学: 心はいつ生まれるか?	小林 恵 (新潟大学)	いま自分に心があることは確信できるとしても、自分がいつから心を持つようになったのか明確に答えることは難しいように思えます。発達心理学は、成長過程において心の諸側面がどのように変化するかを調べる学問です。今回の講義では、生まれたばかりの赤ちゃんを対象にした研究の例から、私たちの心の起源について考えます。
15:30-16:20 臨床心理学	横山 仁史 (新潟大学)	臨床心理学は、心理的な問題を抱える人に寄り添うカウンセリングの方法や心の問題が発生するしくみについて研究を進める分野です。これまで比較的よく研究されてきた心理的問題の発生機序についてわかりやすくお話します。

参加申し込み方法 (事前申し込み制)

日本心理学会ホームページにてご案内しております申し込みサイト (<https://psych.or.jp/event/highschool/>) より、該当の「大学(会場)」と「開催日」をご確認の上、必要事項を入力してお申し込みください。

申込期限 8月7日(水)

- ・参加希望の方は「必ず」事前にお申し込みください。受付番号をお知らせします。お申し込み多数の際は、ご入場いただけない場合がございます。
- ・参加者には、受講証明書を発行いたします。
- ・お知らせいただいた個人情報は、受付の目的のみに利用いたします。

